

機関番号：34428

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2010

課題番号：21720103

研究課題名（和文） フェリシア・ヘマンズとレティシア・ランドンに関する研究

研究課題名（英文） A Study on Felicia Hemans and Letitia Elizabeth Landon

研究代表者 皆本 智美

(MINAMOTO TOMOMI)

摂南大学・外国語学部・講師

研究者番号：20441107

研究成果の概要（和文）：19 世紀前期に活躍した英国女性作家フェリシア・ヘマンズとレティシア・ランドンとその作品について調査・分析し、彼女等が後代の作家に与えた影響の一端について考察し明らかにした。

研究成果の概要（英文）：This study elucidated the influences of Felicia Hemans and Letitia Elizabeth Landon on the later writers in England through research into their works and their reception in early nineteenth-century England.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
21 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
22 年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,700,000	510,000	2,210,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：英米文学・女性学

1. 研究開始当初の背景

文学研究において、ロマン主義時代に活躍した女性作家たちは注目され始めたところであり、個別作家についての研究はあまり進んでいない状況だった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、19世紀前期に英米等で数多く出版された女性を読者対象とする年刊本（アニュアル）に最も多く作品が掲載されていた二人の女性作家（フェリシア・ヘマンズとレティシア・ランドン）について調査し、その作品を分析することによって、文学史上断絶したものとして捉えられがちだったロマン派からヴィクトリア朝への移行期に、女性

作家が果たした役割を解明する一助となることである。

同時に、アニュアルの特徴を体系的に整理することによって、研究対象年代における女性作家間の影響関係を明らかにすることも目的とする。

3. 研究の方法

2009年度は主にイギリスで19世紀前期に発行されたアニュアルを渉猟しながら、ヘマンズとランドン両作家に関連する文献を収集して分析にあたった。

2010年度も引き続き資料の調査・分析を進めながら、研究成果をまとめ、発表準備を行った。

4. 研究成果

1820年代から1850年代にかけて英国内で出版されたアニュアルの中から、ヘマーズとランドンの主な作品を特定し、文献資料を整理してその調査・分析を行った。その結果、両作家は多くの作品で女性の公的領域と私的領域をめぐる問題を取り上げていることが判明した。また両作家が英国女性のナショナリズム発露にどのように関与していたのかについても分析・考察を行い、研究成果を雑誌論文①や学会発表①で公表することができた。さらに両作家が後代の英国作家、特にシャーロット・ブロンテに与えたと推察される影響について、雑誌論文②と学会発表②で公表することができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①皆本智美、ブロンテとリテラリー・アニュアル、撰大人文学、査読有、第18号、2010、pp. 27-47.

②皆本智美、十九世紀前期のアニュアルで活躍した女性作家たち、日本英文学会第81回大会 Proceedings、査読なし、2009、pp. 74-76.

〔学会発表〕(計2件)

①皆本智美、ブロンテとリテラリー・アニュアル、日本ブロンテ協会関西支部春季大会、於近畿大学、単独発表、2010年3月27日

②皆本智美、十九世紀前期のアニュアルで活躍した女性作家たち、日本英文学会第81回大会、於東京大学駒場キャンパス、単独発表、2009年5月31日

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：

番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

皆本 智美 (MINAMOTO TOMOMI)

摂南大学・外国語学部・講師

研究者番号：20441107

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：